

ラプラスの魔女 (2018)

メディア 映画
ジャンル ミステリー
製作国 日本
色彩 Color
時間 115分
初公開日 2018/05/04
公開情報 東宝
映倫 G

【キャッチコピー】

凶器は知性×動機は愛×殺人を証明せよ

【解説】

東野圭吾の同名ベストセラーを「神様のカルテ」「映画 謎解きはディナーのあとで」の櫻井翔主演で映画化したサスペンス・ミステリー。とうてい実行不可能と思われる連続殺人事件の謎に挑む地球化学教授が、自然現象を予言する謎めいたヒロインの存在に導かれて辿り着く驚愕の真実を描く。共演は広瀬すず、福士蒼汰、豊川悦司。監督は櫻井翔とは「ヤッターマン」に続いてのコラボとなる三池崇史。

ある日、初老の男性が若い妻と訪れた温泉地で、硫化水素中毒で死亡する。警察の依頼で現場を調査した地球化学の専門家・青江修介教授は、妻による計画殺人を疑う中岡刑事に対し、屋外で意図的に致死量のガスを吸引させることは不可能と説明し、事故と断定する。ところが数日後、別の場所でまたしても硫化水素による死亡事故が発生する。しかも被害者は前回の男性と顔見知りだった。それでも青江は、未来の自然現象を正確に予測できない限り、この犯行は実行不可能と改めて明言する。そんな青江の前に、事件を調べる怪しげな女性・羽原円華が現われ、これから起こる自然現象をみごとに言い当ててしまうのだった。そして動揺する青江に対し、事件の鍵を握る青年・甘粕謙人の行方を一緒に探してほしいと協力を要請するのだったが…。

【クレジット】

監督	三池崇史
製作	市川南
企画・プロデュース	臼井央 臼井真之介
エグゼクティブプロデューサー	山内章弘
プロデューサー	坂美佐子 前田茂司
アソシエイトプロデューサー	二宮直彦 西崎洋平
ラインプロデューサー	今井朝幸 善田真也
共同製作	堀内大示 藤島ジュリーK. 吉崎圭一 弓矢政法 高橋誠 奥野敏聡

原作	渡辺勝也	
脚本	荒波修	
撮影	東野圭吾	
美術	八津弘幸	
編集	北信康	
音楽	林田裕至	
音楽プロデューサー	山下健治	
照明	遠藤浩二	
録音	杉田寿宏	
	渡部嘉	
	中村淳	
	小林圭一	
装飾	坂本朗	
制作担当	柄本かのこ	
VFXスーパーバイザー	太田垣香織	
ヘアメイク	酒井啓介	
宣伝プロデューサー	鎌田亮介	
助監督	長尾楽	
プロダクション統括	佐藤毅	
キャスティングプロデューサー	杉野剛	
キャラクタースーパーバイザー	前田勇弥	
サウンドエディティングスーパーバイザー	勝俣まさとし	
出演	櫻井翔	青江修介
	広瀬すず	羽原円華
	福士蒼汰	甘粕謙人
	志田未来	奥西哲子
	佐藤江梨子	水城千佐都
	TAO	桐宮玲
	信太昌之	
	橋本一郎	
	渋谷清彦	
	外山誠二	
	菅原大吉	
	玉木宏	中岡祐二
	平原テツ	
	大宮将司	
	平島寛子	
	安藤聖	
	本田大輔	
	潟山セイキ	
	松澤匠	
	石田佳央	
	田中誠人	
	狩野海音	
	高嶋政伸	武尾徹

檀れい		羽原美奈
リリー・フランキー	Lily Franky	羽原全太郎
豊川悦司	Etsushi Toyokawa	甘粕才生